

◎ 留萌市立病院改革プランの補正

● 平成 23 年度決算見込み及び平成 24 年度予算案から、改革プラン（改訂版）の下記ページの補正を行います。

※（ ）は改革プラン（改訂版）の掲載ページ

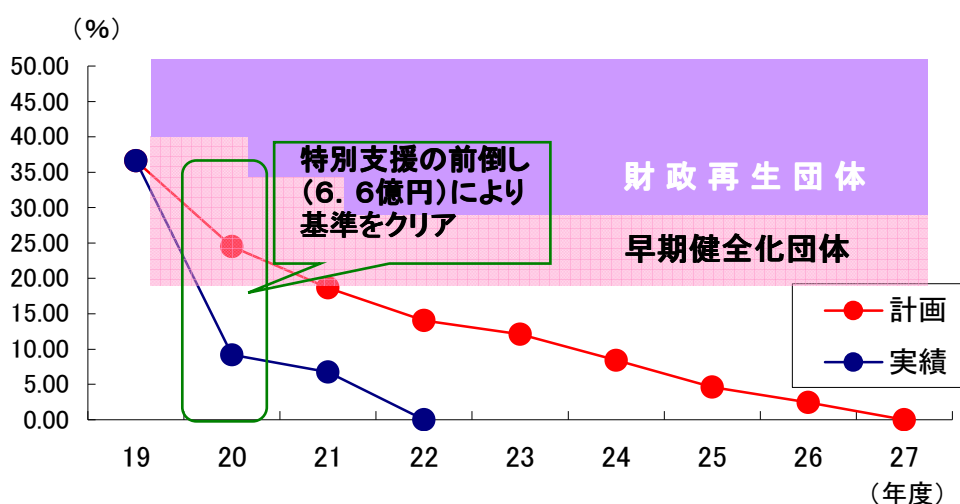
「Ⅱ 3. 一般会計負担の考え方」（P 7）	1
「Ⅱ 4. 数値目標」（P 8～9）	2
「Ⅳ 病院事業会計収支見込み（税抜き）」（P 12～15）	4

3. 一般会計負担の考え方

改革プランでは、平成20年度末までに発生する不良債務額については、計画期間内（21年度から27年度の7年間）に計画的に一般会計から特別な支援を受けることとしていましたが、公立病院特例債分を除く不良債務（1,477,994千円）により、市全体の財政運営の深刻度を表す連結実質赤字比率が、早期に健全化が必要な団体の基準を超えてしまうため、7年間に分ける支援を3カ年分前倒しました。（3カ年分で6億6千万円）

これにより、不良債務解消のための特別支援は、平成24年度までで終了となります。

【留萌市の連結実質赤字比率の推移】



【不良債務解消のための特別支援の状況】

※20年度末の不良債務 1,478百万円

(単位：百万円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	計
計画	—	220	220	220	220	220	220	233	1,553
実績	660	220	220	220	(158)	—	—	—	(1,478)

特別支援累積 1,320百万円 ※上段()は補正前の金額

23年度決算見込みで不良債務の解消が確実となったことと、24年度予算においても黒字が見込める状況であるため、「不良債務解消のため」の特別な支援は23年度で終了します。なお、24年度に繰入れる予定の1億5千8百万円については、市では今後のために積み立てを検討しています。

4・数値目標

1)財務内容の改善に係る数値目標

※H23以降の上段()は補正前の数値目標

①経常収支比率(%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	80.7	92.5	93.0	(96.2) 96.9	(95.6) 93.6	(96.3) 95.4	(96.4) 95.1	(96.2) 95.2
実績	82.9	93.4	98.8	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

平成27年度の目標を95.2%に設定し、その後、早期の経常黒字化(100%)を目指します。

②職員給与費比率(%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	53.0	45.5	45.0	(44.7) 44.1	(47.3) 49.4	(47.2) 48.3	(48.2) 50.1	(48.5) 51.2
実績	52.7	44.7	44.1	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

人件費の抑制(給与・諸手当の見直し等)を継続して実施しますが、医師及び医療スタッフの確保を進めることにより平成27年度の目標を51.2%に設定します。国が示した目標数値の52.0%は下回ります。

③病床利用率(%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	62.8	88.2	88.2	(70.7) 70.3	(70.0) 70.0	(70.0) 70.0	(70.0) 70.0	(70.0) 71.2
実績	65.2	71.4	70.8	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

現在の病床数350床(一般病床300床、療養病床50床)に基づき数値目標を設定しました。

④不良債務比率(%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	39.0	31.0	25.1	(△4.5) △ 5.1	—	—	—	—
実績	19.7	14.7	2.3	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

平成27年度に不良債務解消としていましたが、一般会計からの特別支援の前倒しや収支改善により、平成23年度に解消し目標を達成します。

⑤流動比率(%)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	32.8	38.2	43.7	(125.5) 125.4	—	—	—	—
実績	50.6	57.5	89.9	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

平成27年度に一般的に良好な数値(120.0%以上)を超えることとしていましたが、一般会計からの特別支援の前倒しや収支改善により、平成23年度に目標を達成します。

○公立病院としての医療機能に係る数値目標
 ※H23以降の上段()は補正前の数値目標

①年延べ入院患者数(人)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	80,270	79,879	79,879	(90,559)	(89,425)	(89,425)	(89,425)	(89,670)
実績	83,270	91,206	90,507	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

常勤の脳神経外科医や循環器内科医の確保に伴う診療体制の強化と、現在の350床の運用により、平成27年度の年延べ入院患者数を91,256人としました。

②年延べ外来患者数(人)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	123,309	122,825	122,825	(118,680)	(117,733)	(118,220)	(118,706)	(118,706)
実績	128,063	131,958	118,243	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

年延べ入院患者数の考え方に加え、現在の診療科目を維持することから、平成27年度の年延べ外来患者数を121,060人としました。

③年間紹介患者件数(件)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	2,679	2,745	2,800	(3,464)	(3,533)	(3,604)	(3,676)	(3,750)
実績	2,826	3,194	3,396	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

地域医療機関との連携強化を進め、平成27年度の3,750件の目標達成を目指します。

④臨床研修医の受け入れ人数(人)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
目標	3	4	4	(3)	(4)	(4)	(4)	(4)
実績	3	4	2	—	—	—	—	—

【数値目標設定に当たっての考え方】

受入枠4人の確保を目指します。

IV 病院事業会計収支見込み（税抜き）

1. 収益的収支

○ 収支計画（税抜き）

上段（ ）は補正前の数値、下段は補正後の数値（単位：百万円）

年度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収 入	1 料 金 収 入	3,818	4,111	4,400	(4,553)	(4,379)	(4,423)	(4,398)	(4,405)
	入 院 収 益	2,591	2,791	3,143	(3,225)	(3,123)	(3,163)	(3,131)	(3,138)
	外 来 収 益	1,227	1,320	1,257	(1,328)	(1,256)	(1,260)	(1,267)	(1,267)
	2 一 般 会 計 繰 入 金	441	497	502	(499)	(471)	(463)	(455)	(446)
	3 そ の 他 収 益	217	274	299	(269)	(282)	(281)	(281)	(276)
	経 常 収 益(A)	4,476	4,882	5,201	(5,321)	(5,132)	(5,167)	(5,134)	(5,127)
	※うち 医 業 収 益	4,118	4,444	4,719	(4,883)	(4,704)	(4,748)	(4,724)	(4,731)
支 出	1 職 員 給 与 費	2,171	1,988	2,079	(2,186)	(2,226)	(2,243)	(2,275)	(2,293)
	2 材 料 費	933	967	920	(996)	(926)	(927)	(919)	(921)
	3 経 費	957	1,040	1,058	(1,114)	(1,066)	(1,086)	(1,054)	(1,045)
	4 減 価 償 却 費	480	413	411	(419)	(406)	(391)	(399)	(408)
	5 支 払 利 息	182	167	156	(146)	(142)	(134)	(125)	(117)
	6 そ の 他 費 用	675	650	641	(672)	(604)	(583)	(554)	(543)
	経 常 費 用(B)	5,398	5,225	5,264	(5,533)	(5,370)	(5,364)	(5,326)	(5,327)
経 常 損 益 (A)－(B)(C)	△ 922	△ 343	△ 63	(△ 212)	(△ 238)	(△ 197)	(△ 192)	(△ 200)	
特 別 損 益	1 特 別 利 益(D)		255	266	(259)	(261)	(262)	(264)	(266)
	2 特 別 損 失(E)	25	11	4	(12)	(7)	(7)	(14)	(22)
	特 別 損 益 (D)－(E)(F)	△ 25	244	262	(247)	(254)	(255)	(250)	(244)
純 損 益 (C) + (F)①	△ 947	△ 99	199	(35)	(16)	(58)	(58)	(44)	
累 積 欠 損 金	9,034	9,133	8,934	(8,899)	(8,883)	(8,825)	(8,767)	(8,723)	
流 動 資 産(ア)	832	886	1,001	8,872	8,982	8,988	9,016	9,051	
流 動 負 債(イ)	1,645	1,542	1,113	(1,083)	(1,058)	(1,055)	(1,058)	(996)	
不 良 債 務 (ア)－(イ)	813	656	112	(863)	(614)	(463)	(406)	(331)	
				981	751	625	733	532	
				—	—	—	—	—	
				—	—	—	—	—	

※ 各項目で端数処理しているため、合計があわないことがあります。

○ 経常収益

1. 入院収益・外来収益

1 人当たり単価をもとに、各年度の収入増に向けた取り組みを考慮し、診療体制を勘案した患者数を乗じて計上しています。

2. 一般会計繰入金

ルールに基づき、企業債の利子償還や政策的医療に要する経費などに対する繰入金に加えて、看護師確保などの支援を計上しています。

3. その他収益

特別室、個室の室料、健康診断や人間ドック、検査受託収益や国・道からの補助金などを計上しています。

○ 特別利益

1. 病院特例債元金償還に対する支援を計上しています。

○ 経常費用

1. 人件費

スタッフ確保計画をもとに各年度の増減員、昇給等を見込んで計上しています。

※ 給与制度の適正化については、継続して検討していきます。

2. 材料費

1 人当たりの単価をもとに薬品費、診療材料費などを計上しています。

3. 経費

光熱水・燃料費、委託料など病院の管理運営に要する経費を計上しています。

4. 減価償却費等

病院建設や医療器械購入などにより発生した減価償却費を計上しています。

5. 支払利息

病院建設や医療器械購入などの財源として借り入れた企業債に係る支払利息を計上しています。

6. その他費用

研究研修費や医業外の経費を計上しています。

○ 特別損失

1. 過年度の修正損や貸付金の償還免除費などを計上しています。

2. 資本的収支

○ 収支計画（税抜き）

上段（ ）は補正前の数値、下段は補正後の数値（単位：百万円）

区分	年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収入	1 企業債	1,824	41	50	(330)	(50)	(50)	(50)	(50)
	うち病院特例債 β	1,824							
	2 他会計出資金	289	292	293	(297)	(305)	(327)	(268)	(281)
	3 他会計補助金・負担金	674	233	234	(234)	(172)	(13)	(5)	(5)
	うち不良債務解消分 β	660	220	220	(220)	(158)			
	4 その他資本的収入	2	2	4	(23)				
	収入計(A)	2,789	568	581	(883)	(527)	(390)	(323)	(336)
支出	1 建設改良費	4	46	60	(355)	(55)	(55)	(51)	(50)
	2 企業債償還金	440	698	700	(707)	(722)	(768)	(685)	(712)
	3 繰延勘定	136	159	72	(127)	(103)		(94)	(118)
	4 その他資本的支出	13	20	17	(21)	(22)	(24)	(27)	(26)
	支出計(B)	593	923	849	(1,210)	(902)	(847)	(857)	(906)
差引不足額(B)-(A)②	2,196	Δ 355	Δ 268	(Δ 327)	(Δ 375)	(Δ 457)	(Δ 534)	(Δ 570)	
内部留保資金③	685	612	612	(624)	(583)	(548)	(536)	(539)	

単年度収支①+②+③ α	1,933	158	543	(332)	(224)	(149)	(60)	(13)
				361	45	79	61	28

不良債務解消分特別支援、 病院特例債（再掲） β	2,484	220	220	(220)	(158)	(0)	(0)	(0)
				220	0	0	0	0

実質単年度収支 $\alpha-\beta$	Δ 551	Δ 62	323	(112)	(66)	(149)	(60)	(13)
				141	45	79	61	28

※ 各項目で端数処理しているため、合計があわないことがあります。

○ 資本的収入

1. 企業債

医療機器購入費の財源として借入を予定しています。

2. 他会計出資金

繰出基準に基づき、企業債償還元金に対する一般会計からの出資金を計上しています。

3. 他会計補助金・負担金

一般会計からの繰入金のうち、投資的なものに関するもの及び不良債務解消に係る特別支援分を計上しています。

4. その他資本的収入

貸付金の償還金、固定資産売却代金などを計上しています。

○ 資本的支出

1. 建設改良費

医療機器購入費を計上しています。

2. 企業債償還金

病院建設や医療器械購入などの財源として借り入れた、企業債の元金償還金を計上しています。

3. 繰延勘定

勸奨退職など退職給与金の額が多額であって、その年度の収益で負担することが困難なものを計上しています。

※24年度以降は会計基準の見直しに先駆けて、退職金は繰延をせず職員給与費に計上しています。

4. その他資本的支出

看護師等修学資金貸付金、研究資金貸付金などを計上しています。

● 25年度以降に予想される消費税の増率と26年度から実施される会計基準の見直しについては、今回の試算では考慮していません。